令和7年度
第4次下妻市男女共同参画推進プラン進捗状況報告書





目次

1. はじめに	1
2. 評価の概況	1
3. 分野別実績要約	2
4. 今後の方向性（課題と展望）	5
5. 事業一覧（評価概要）	6

1. はじめに

本報告書は、「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」に基づき、令和7年度に実施された各施策の進捗及び成果を取りまとめたものである。男女共同参画社会の実現に向け、各担当課が連携し、多様な視点を取り入れた事業を推進した。

2. 評価の概況

全126項目中、多くの事業において順調な成果（評価：a）が得られた。特に、子育て支援、教育環境の整備、健康づくり分野においては、高い利用実績や計画的な事業遂行が確認された。一方で、一部の事業については次年度以降の事業継続の中で検討（評価：b・c）が必要な状況である。

3. 分野別実績要約

基本目標Ⅰ　あらゆる分野における男女共同参画の推進

- 政策参画の拡大
  審議会等の女性委員の登用率は26.78%。
  （令和6年度実績は23.29%）
  目標達成に向けた継続的な働きかけが必要。
- 職場環境
  市職員の管理職への女性登用が着実に進展。
  （課長級17.2%、課長補佐級32.2%、係長級55.0%）
- ワークライフバランス
  テレワーク利用促進や男性職員の育児休業取得率（86%）など、柔軟な働き方が浸透。

基本目標Ⅱ　安心・安全な暮らしの実現

- 暴力根絶
  「パープルリボンキャンペーン」の実施や、こども家庭センターによる相談機能の強化・連携を図り、切れ目のない支援体制を構築した。
- 多様性の尊重
  ひとり暮らしの高齢者への支援や、多言語対応の推進により、誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進。
- 教育
  ICT環境の整備や性教育の実施、キャリア教育の充実など、次世代を担う子どもたちの育成に注力。

基本目標Ⅲ　男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

- 子育て支援
  出産祝金の支給や各種相談体制の強化、こども家庭センターの開設による包括的な支援が実績として表れている。
- 生涯学習
  公民館教室や図書館事業など、市民の学びと生きがいを支援。

4. 事業一覧（評価概要）

評価		項目数	主な傾向
a	計画通りに達成できた（80%以上）	109	教育、子育て支援、健康、福祉分野など大半を占める
b	ほぼ計画通りに達成できた（50～79%）	15	農業後継者育成、広聴事業、審議会登用など
c	事業実施のための施策は整っているが、利用実績がない	1	チャイルドシートリサイクル事業など
d	計画通りに進まなかった（1～49%）	0	
e	計画には及ばなかった(実施していない)	0	

5. 今後の方向性（課題と展望）

令和8年度は、以下の点に重点を置いて取り組む。

1. 審議会等の女性登用
   女性委員不在の解消および目標数値（30%）の達成を目指す。
2. 広聴事業の再構築
   「どこでも市長室」の終了に伴い、新たな市民の声を拾い上げる効果的な広聴手法を検討する。
3. 相談体制の周知
   「こども家庭センター」をはじめとする各種相談窓口を、市民がより身近に利用できるよう周知を強化する。
4. SNS等の情報発信
   若年層に向けた発信を強化し、移住定住の促進や男女共同参画への意識向上を図る。